

使用上のご注意

■乾燥マットはふとんといっしょにのりたたんで使用しないでください。



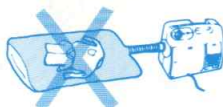
熱変形などの故障の原因となります。

■乾燥中はふとんの上にのったり、重いものを落としたりしないでください。



ボタンがはずれたり乾燥マットが破れる場合があります。

■乾燥マットの中へ物を入れて乾燥しないでください。



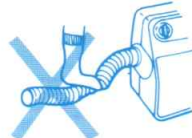
本体が過熱し、熱変形します。

■本体に水をかけたり水のたれるようなぞうきんでふかないでください。



本体の中に水が入り感電や故障の原因になります。

■ホースの上に物をのせたり、踏んだりしてつぶさないでください。



ホースが変形したり、破れるおそれがあります。

■お子さまが乾燥機をおもちゃがわりにしたり、不用意に操作したりしないようご注意ください。



お子さまが不用意に使用しますとケガをするおそれがあり危険です。

■本体に腰をかけたり重いものをのせないでください。また製品をなげたり衝撃を与えないようにしてください。



本体のプラスチックが割れたり、内部の故障の原因になります。

■ストーブなどの近くに置いたり、火のついたローソク、タバコ、蚊取線香などを近づけないでください。



本体や乾燥マットがこげたり、燃えることがあります。

■ふとん乾燥機を使用しているときは揮発性の引火物を近くで使用しないでください。



火災の原因になります。

■直射日光のあたる場所に置かないでください。

直射日光



プラスチック部品を長時間日光にさらしますと変形や変色をおこすおそれがあります。

点検とお手入れ

本体

お手入れの前にはかならず電源プラグをコンセントからぬいてください。

■吸気フィルターのお手入れ

吸気フィルターにはほこりなどが付着しますと、発熱量が下がり十分に機能を発揮することができませんので、電気掃除機の隙間用吸口などにより掃除をしてください。

汚れのひどい場合は吸気口をはずして裏側を掃除してください。



■ベンジン、シンナー、クレンザーおよび化学ぞうきんなどでふいたり、タワシでこすったりしないでください。表面を腐食させたり、傷つけるおそれがあります。



保管

お手入れの後、乾燥マット、ホースを収納ケースにきちんと収納し、湿気の少ない場所に保管してください。乾燥マット、ホースは図のように入れてください。



乾燥マット

洗たく機で洗わないでください。

■ボタンをはずし、ファスナーを開き中のほこりをおとしてください。なお、ボタンをはずすときはななめに引っばらないでください。乾燥マットが破れる場合があります。

■汚れのひどい場合には次の要領で洗たくをしてください。

- ① ボタンをはずしてください。
- ② 中性洗剤をいれたぬるま湯でかるくおし洗いをしてください。
- ③ 次にソフト仕上剤（ライオンソフトナー、ハミングなど）の入った水ですすぎ洗いをしてください。（ソフト仕上剤を入れないですすぎ洗いをしますと使用中ほこりがつき、汚れやすくなります。）
- ④ 干す時は直射日光に当てますと変色する場合がありますので、かけ干しをしてください。アイロンかけは乾燥性能が低下しますのでおやめください。
- ⑤ 干した後は、ボタンを元のようにはめてください。



かけ干し



アイロン

チビマット

乾燥マットと同様、洗たく機で洗わないでください。